

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

造影剤注入装置接続時のテストインジェクションから推測した硬膜動静脈瘻造影条件の適正化

1．研究の対象および研究対象期間

2014 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに昭和大学江東豊洲病院脳血管センターで脳血管造影検査を受けられた方。

2．研究目的・方法

脳血管造影検査とは、脳血管に造影剤で投与して、X 線撮影(Digital Subtraction Angiography：以下 DSA)する検査です。造影剤は造影剤注入器を用いて投与しています。硬膜動静脈瘻症例で造影剤注入器を用いて DSA 撮影する場合、造影剤注入条件は経験則に基づいて設定しています。しかし、硬膜動静脈瘻の検出率は人口 10 万人あたり年間 0.15 人と件数が少なく、経験積むことが難しいという問題点があります。本研究では DSA 直前に毎回実施する、造影剤注入装置（インジェクター）接続時のテストインジェクションの情報を参考に解析することで、硬膜動静脈瘻における造影注入条件の適正化が行えるか検討します。適正化の検討として、テストインジェクションや経験則を参考に造影剤注入条件を設定した脳血管造影画像を使用します。

本研究は学術研究であり、通常の診療で得られた脳血管造影画像(DSA、透視保存)を利用します。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 7 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

脳血管造影検査の画像データ(DSA、透視保存)

5．外部への試料・情報の提供

昭和大学の単施設で実施するため該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者

昭和大学江東豊洲病院

石本 陽平

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：石本 陽平

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6150（放射線検査受付）